

産婦人科

臨床研修期間(2年間)		専門医研修期間(標準3年間)					
病院名(59病院)	医療圏	基幹施設名(10病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
横浜労災病院	横浜	北里大学病院	相模原	B	小田原市立病院	県西	A
昭和大学藤が丘病院					相模野病院	相模原	B
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院					相模原病院	相模原	B
横浜旭中央総合病院					横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
菊名記念病院					藤沢市民病院	湘南東部	B
汐田総合病院					大和市立病院	県央	B
昭和大学横浜市北部病院					済生会横浜市東部病院	横浜	C
済生会横浜市東部病院					帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C
済生会横浜市南部病院					矢内原ウィメンズクリニック	横須賀・三浦	B
横浜南共済病院					湘南鎌倉パースクリニック	横須賀・三浦	B
横浜栄共済病院					湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B
横浜市立大学附属病院					東海大学医学部付属病院	湘南西部	B
横浜市立みなと赤十字病院					済生会横浜市東部病院	横浜	C
横浜市立大学附属市民総合医療センター					湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	B
横浜中央病院					湘南藤沢徳洲会病院	湘南東部	B
けいゆう病院					平塚市民病院	湘南西部	B
横浜医療センター					伊勢原協同病院	湘南西部	B
横浜市立市民病院					海老名総合病院	県央	B
国際親善総合病院					済生会横浜市東部病院	横浜	C
戸塚共立第1病院					新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C
東戸塚記念病院					昭和大学藤が丘病院	横浜	C
聖隷横浜病院					小田原市立病院	県西	A
帝京大学医学部附属溝口病院					横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
聖マリアンナ医科大学病院					藤沢市民病院	湘南東部	B
川崎市立多摩病院					大和市立病院	県央	B
新百合ヶ丘総合病院	海老名レディースクリニック	県央	B				
関東労災病院	神奈川県立こども医療センター	横浜	C				
川崎市立川崎病院	横浜南共済病院	横浜	C				
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
川崎協同病院	横浜労災病院	横浜	C				
川崎市立井田病院	済生会横浜市南部病院	横浜	C				
日本医科大学武蔵小杉病院	横浜市立市民病院	横浜	C				
川崎幸病院	横浜医療センター	横浜	C				
相模原病院	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
北里大学病院	小田原市立病院	県西	A				
相模原協同病院	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B				
横須賀市立うわまち病院	横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B				
横須賀共済病院	藤沢市民病院	湘南東部	B				
横須賀市立市民病院	大和市立病院	県央	B				
湘南鎌倉総合病院	海老名レディースクリニック	県央	B				
大船中央病院	横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C				
藤沢市民病院	横浜南共済病院	横浜	C				
湘南藤沢徳洲会病院	横浜労災病院	横浜	C				
藤沢湘南台病院	済生会横浜市南部病院	横浜	C				
湘南東部総合病院	神奈川県立がんセンター	横浜	C				
茅ヶ崎市立病院	横浜市立市民病院	横浜	C				
平塚市民病院	横浜医療センター	横浜	C				
平塚共済病院	田園都市レディースクリニック	相模原	B				
東海大学医学部付属病院	聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C				
伊勢原協同病院	平塚市民病院	湘南西部	B				
秦野赤十字病院	済生会横浜市東部病院	横浜	C				
大和市立病院	けいゆう病院	横浜	C				
海老名総合病院	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C				
厚木市立病院	横浜総合病院	横浜	C				
東名厚木病院	川崎市立多摩病院	川崎北部	C				
湘南厚木病院	川崎市立川崎病院	川崎南部	C				
小田原市立病院	新百合ヶ丘総合病院	川崎北部	C				
山近記念総合病院	東海大学医学部付属病院	湘南西部	B				
神奈川県立足柄上病院	川崎市立川崎病院	川崎南部	C				
	川崎市立川崎病院	湘南西部	B				

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	<p>当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。</p> <p>また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。</p> <p>全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。</p>	<p>当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病病連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。</p> <p>当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事していただけることを期待しています。</p> <p>また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っており、ダビンチや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。</p>
相模原	B	北里大学病院	1140	<p>○神奈川県では主に横浜、川崎を除いた地域で医師不足が顕著である。特に北里大学病院や北里大学関連施設(JOHO相模野病院、国立相模原病院)のある県北相模地区は分娩数あたりの産科医師数が全国平均以下である。そのため、同地区の周産期基幹施設である北里大学病院で産科希望の地域枠医師を受け入れ、育て、地域貢献していくことを希望する。(産婦人科)</p>	<p>○北里大学病院産科は働き方改革に積極的に取り組んでいる。当直明けは12時までには帰宅可能な体制が既に構築されており、限られた勤務時間の中で高密度な業務を行なっている。分娩や帝王切開など基本手技の研修だけでなく、胎児超音波・鉗子分娩・特殊帝王切開・産科救急や英文論文作成の指導など、全国に通用するアドバンス研修も提供可能である。(産婦人科)</p>
横須賀・三浦	B	公益社団法人地域医療振興協会横須賀市立うわまち病院	417	<p>症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。</p> <p>内科・産婦人科系は医師数が充分とは言えず、二次医療圏の医師数の状況を踏まえても更なる増員が必要であると考えます。</p>	<p>三浦半島80万人医療圏の中核的な病院です。救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。</p>
横須賀・三浦	B	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	<p>神奈川県での医療を継続して担う人材を確保・育成したい為。</p>	<p>超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れを実践しており、豊富な臨床経験を積み出すことが出来ます。現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー・陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。</p>
湘南東部	B	湘南東部総合病院	348	<p>湘南東部医療圏に限定せず、今後高齢化率の高い県内のいずれの医療機関でも不安な診療にあたる実力を医師として獲得できるように体制を整え、希望者をSubspecialty領域専門医の研修や高度・先進的医療、大学院などでの研究を開始する準備の経験が出来ることで、地域医療に貢献を果たします。</p>	<p>当院は神奈川県湘南東部医療圏の中心的な急性期病院であるとともに、地域の病診、病病連携の中核であります。</p> <p>一方で地域に根差す第一線の病院でもあり、コンディジーズの経験はもちろん、超高齢化社会を反映し、複数の病態を持った患者の診療経験もでき、高次病院や地域病院との病病連携や診療所(在宅訪問診療施設などを含む)との病診連携も経験できます。</p>
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	<p>神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。</p>	<p>当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。さらには壮年職員の立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。</p>
湘南東部	B	湘南鶴沼産婦人科	19	<p>・医師不足 ・神奈川県は「お産難民」という言葉が生まれた地域であるが、今後そのような事態が発生しないようにお産を扱う診療所を維持し、増やしていく努力をしていきたい。</p>	<p>病院と診療所では、医師に必要とされるスキルが異なっている。当診療所では、「お産を扱う診療所」に必要な医学的知識・技術に加えて財務・経理知識、人事・組織体制、接客姿勢等の習得が可能である。また開業支援も可能である。</p>
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	<p>本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。</p>	<p>特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。</p>
湘南西部	B	平塚市民病院	416	<p>当院の救急車搬送患者数は10,322人(令和5年度)であり、全国的に見ても上位に入る多さであるが、一部の診療科では医師不足の状況が深刻化しており、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、ぜひ医師の派遣を要望します。</p>	<p>当院は29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積み上げることができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。</p>
湘南西部	B	伊勢原協同病院	350	<p>・産科 : 医師の高齢化のため</p>	<p>三次救急の大学病院が近くにあり、当院では各医師の専門性を重んじつつも良好なチーム医療により総合的な力を発揮し、二次医療を行っております。</p> <p>ほぼすべての診療科に指導医がおります。</p>
横浜	C	独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院	650	<p>医師数が欠員となっている診療科があるとともに、患者数の増加に診療が追いつかなくなっているため。</p>	<p>多くの診療科が整備されており、研修医プログラムも充実している。診療科間の研修医交流が可能。</p>
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	<p>当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることから、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。</p>	<p>当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。</p>
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	726	—	—

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	横浜市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており、当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の中核施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいです。
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に進め、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までチームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行っている。
横浜	C	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	410	大学派遣も厳しい状況であり、リクルート活動の一環として受入れたい。	内科、外科、産婦人科、どの診療科においても、広く症例経験することが可能です。
横浜	C	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	横浜みなと赤十字病院	634	産科:キャリア15年以上の医師が大半を占める。周産期分野を中心に、良性腫瘍手術、悪性腫瘍手術、内視鏡下手術、腔式手術、ホルモン治療それぞれに長けた医師が在籍しており、その知識と経験を若手医師に伝えたい。また若手医師が加入することによりさらに活性化された議論を組みかわせる可能性が高く、受け入れを希望する。	産科:当院は地域周産期母子医療センターであり、またがん拠点病院でもある。そのため多くのハイリスクを含めた分娩や悪性腫瘍患者を診られる。分娩数も多く、帝王切開術、吸引分娩、鉗子分娩を多く経験出来、また無痛分娩も行っている。悪性腫瘍は放射線治療法、化学療法に加え、分子標的治療も行う。また、腔式手術や内視鏡下手術を含めた良性手術症例も多く、更年期症状や月経困難症等に対するホルモン療法も行う患者も多く診られる。生殖医療は人工授精まで行っており幅広い経験と知識を共有することが出来る。
横浜	C	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数の診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
川崎南部	C	医療法人社団 和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根づいた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。